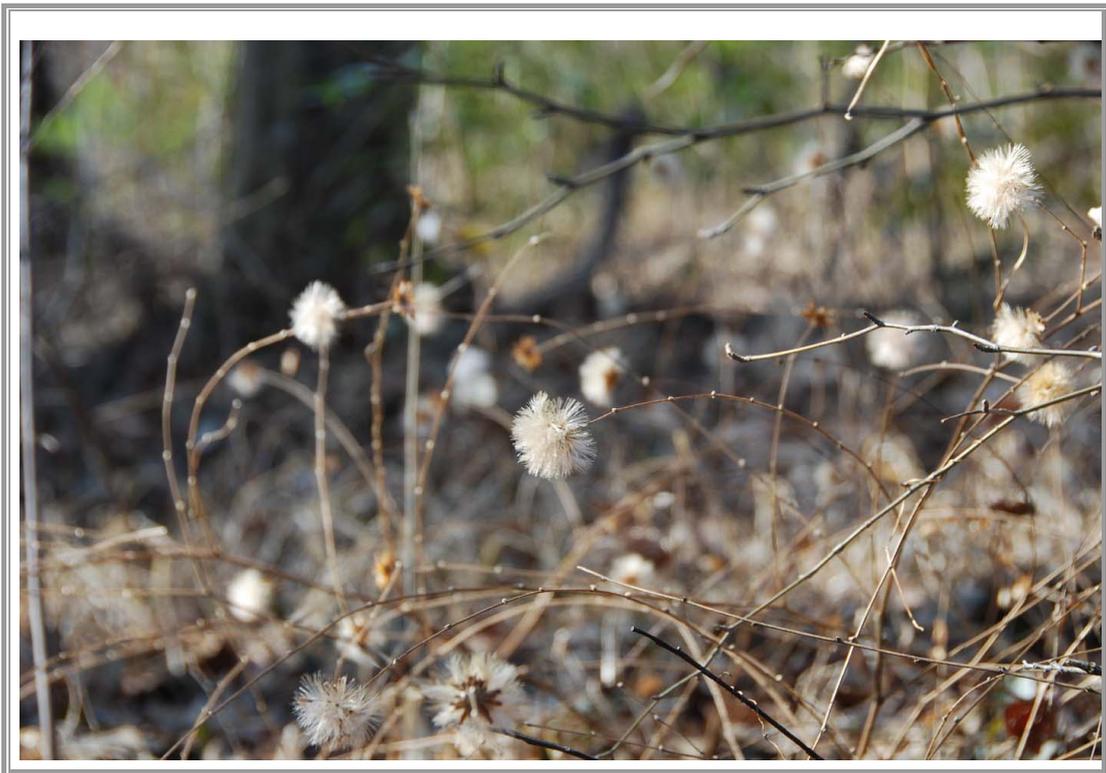


平成 25 年 2 月 20 日



森づくり集団「^{しほり}栞」事務局通信 Vol.53号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2013.02.03 所沢フィールド

【今月のお知らせ】

平成24年度第3回理事会 報告

平成25年2月 10 日
報告者:小林 秀夫

1. 平成25年度総会日程について

日時:平成25年4月21日(日) 13時から17時

終了後、懇親会開催

場所:ふじみ野市立サービスセンターホール

ふじみ野市霞ヶ関1-2-7 TEL:049-261-0353

東武東上線・上福岡駅下車

2. 議案・資料の分担について(以下、敬称略)

平成25年度総会案内文(小林)

平成25年度総会議案(小林)

平成25年度事業実施計画案(吉田ひ)

平成25年度ホームページ報告書(田中)

平成24年度会計報告及び平成25年度会計計画案(緑川)

平成24年度会計監査報告(吉田あ)

平成25年度年間活動予定案(渡部)

平成25年度総会資料(小林)

3. 平成25年度期の役員体制(案)について

代表理事(土金)副代表理事(神座)理事(渡部、吉田ひ、小林)

監事(吉田あ)事務局長(小林)

現理事の武田さんと現事務局長の緑川さんからは、退任の意思表示があり

これを了承しました。

【今月の活動報告】

冬の観察会

H25年1月19日(土)～20日(日) 奥日光湯元を訪ねて

参加者 吉田ひ、北村み、緑川、小林、土金

今回は、奥日光湯元周辺のスノーシュー観察会です。

冬晴れの中、日光へ向かう。男体山、女峰山の山並みを見ながら、いろは坂を登り、湯元に到着。

日光自然博物館主催のスノーシュー観察会に参加する。

最初に、湯の湖でバードウォッチング。ホシハジロ、キンクロハジロ、マガモ、オオバン、ヨシガモ、ミコアイサ、カワアイサなどが見られた。



次は、湖畔から周辺を歩き、樹木の観察。ズミ、ツルアジサイ、カラマツ、ハンノキ、キハダ、マユミ、地衣類などを見て、終了。湖畔で、持参した昼食を食べる。午後は、湯滝から泉門池を廻る林間コースを歩く。冬芽を観察しながら、池に到着。シマエナガがいた。帰りに、水浴びをしているカワガラスを数羽見かける。

宿に到着し、乳白色の温泉を楽しんだ後、夕食。その後、ボタンキューの人もいたが、露天風呂をたっぷり満喫した人もいたようだ。



天気はいい。金精沢の入口まで歩き、そこで、金精沢コースと周辺散策コースの2班に分かれる。金精沢班は、スノーシューの跡を辿り、金精沢を詰める。通行禁止のテープで引き返し、途中から金精道路への登りに取りつく。やった道路に着くと、湯の湖の景色が眼下に広がる。湯元の源泉と温泉街を見下ろし、駐車場へ戻る。周辺散策班は、ゆっくり時間をかけて冬芽の観察を楽しんだとのこと。



無料の湯巡り手形で温泉に入り、蕎麦屋を目指す。鬱蒼とした杉並木の例幣使街道を通り、「小代行川庵そば組合」に到着。日本庭園を眺めながら、野菜天ざるそばを食し、帰路についた。

企画担当・土金

2月3日(日) 10:00 ~

下富第2フィールド

参加者 / 神座、緑川、中島、北村(み)、吉田ひ、吉田あ、小林 (敬称略)

活動担当者 / 土金

午前は、サワラの伐倒を行い、枝が芯から出ていることを観察しました。
また、吉田ひさんが丸太のベンチを作りました。



昼は、恒例の焼き芋をやりました。安納芋のあまりの甘さに一同感激。
午後は、小林さんの指導でロープワークをやりました。もやい結び、うの首結び、
2重8の字結び、テグス結びなどを学びました。忘れないように練習しましょう。
帰りに第3フィールドに立ち寄りしましたが、春はまだまだという感じです。

風もなく、暖かい一日でした。



活動担当者 土金



【次回の活動予定】

2月3日(日)10:00～

下富第2フィールド

雑木林の整備及びほだ木作りをします。
焼き芋を用意しますので、是非ご参加下さい。
参加希望者はメンバーメールにてお知らせください。

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れをおこなっています。
会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】

今年も花粉症にとってはもっともつらい季節がやってきました。
昨年の猛暑で例年の5倍の花粉が飛散する予想です。待ち遠しい春が遠くに行ってしまう気がします。花粉対策がやっと定着したのに西の方から黄砂となにやら新しく「PM2.5」という強力な化学物質が入り混じって飛んできているようです。また新たな対策を考えなければなりません。それよりも「臭いものは元を絶たなければダメ!」というコマーシャルが浮かびます。

緑川

植物の葉

今回はお休みです。

あ

PM2.5 とは何でしょう・・・？

大気汚染の原因物質として浮遊粒子状物質 (SPM) は、環境基準で「大気中に浮遊する粒子状物質であってその粒径が $10 \mu\text{m}$ 以下のものをいう」と定められていますが、PM2.5 はそれよりもはるかに小さい粒子で、直径が $2.5 \mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質のことをいい、環境基準値は1日平均値 $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下 (大気1立方メートル当たり35マイクログラム以下) と定められています。

粒子が小さいため気管を通過しやすく肺の奥まで入り込み、ぜんそくや気管支炎を引き起こし、肺胞など気道より奥に付着するため人体への影響が大きいと考えられています。

代表的な微小粒子状物質であるディーゼル排気微粒子は、大部分が粒径 $0.1 \sim 0.3 \mu\text{m}$ の範囲内にあり、発ガン性や気管支ぜんそく、花粉症などの健康影響との関連が懸念されます。

環境省はこのPM2.5 が中国からの飛来している問題で2月27日、専門家会合を開き、環境基準値の2倍を超えると予測される日に、都道府県が住民へ外出の自粛などを注意喚起することを柱とする指針を決めました。

指針は、1日平均のPM2.5濃度が国の環境基準である大気1立方メートル当たり35マイクログラムの2倍に当たる70マイクログラムを超えると予測される場合、都道府県が注意喚起することとしたそうです。

判断の目安は、早朝の濃度が85マイクログラムを上回ったときを想定。これまでの観測から、この濃度を上回れば1日平均濃度が70マイクログラムを超えることが多いそうです。

注意喚起としては「行動の目安」を挙げ「不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らす」としました。特に心臓や肺に持病のある人や高齢者、子供ら影響を受けやすい人は「体調に応じて、より慎重に行動することが望まれる」とのこと。

環境省によると、全国200の一般測定局のうち1日平均濃度が1カ所でも70マイクログラムを超えた日数は、平成22年で7日、23年で12日。

「注意喚起が必要になるのは、おおむね年間10日になるだろう」としています。

注意喚起の指針として環境基準の35マイクログラムを採用しなかったことについて、専門家会合の座長を務める京都大の内山巖雄名誉教授は「環境基準は、人の健康を保護する上で維持が望ましいレベルであり、超えたら直ちに影響が出るわけではない」と説明したそうです。

<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html> 環境省 現在の状況【速報値】

影

森づくり集団「しほり 菜」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子